

◎第6回理事会(41.11.25)出席者:篠原会長,水野,酒井,畑谷各副会長,羽田専務理事,青木,飯吉,内林,神田,久保,米谷,堺,佐藤,多田,友田,成岡,広瀬,藤田,村上,横戸,横道,吉田,渡辺の各理事。議事録署名理事の決定:篠原会長,羽田専務理事,青木理事。
A. 報告事項:つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された;1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会その他報告。4)委託研究経過報告。5)松永賞受賞者報告。B. 協議事項:1)委員会委員の交通費について。2)土木学会総会および年次学術講演会の開催地について。3)東洋レーヨン科学技術研究助成候補者推せんについて。4)レオンハルト工法およびレオパ工法の設計施工指針審議依頼の件。5)その他。6)委員の委嘱について

- ① 海岸工学委員会論文編集小委員会
委員 白石 英彦 農林省土木試験所
- ② 耐震工学委員会
委員 松原健太郎 国鉄副技師長
- ③ 日本土木史編集委員会
執筆委員 鳥居 秀夫 建設コンサルタント協会
土持 保 東京建設業協会
小野 一成 東京都立教育研究所
古川 修 建設省建築研究所

◎各種委員会

(1) 第4回土木図書館運営委員会(41.9.30)出席者:米元委員長,浅川幹事長,ほか5名。議事:1)関係機関刊行物の収集について。2)資料目録の作成について。3)国際会議の調査。4)蔵書目録作成費の件。5)図書館利用状況。6)その他。

(2) 文献調査委員会(41.10.5)出席者:松本委員長,ほか13名。議事:1)会誌51巻12号登載抄録の決定。2)解説記事について。3)その他。

(3) 第6回原子力土木技術委員会(41.10.24)出席者:左合委員長,ほか12名。議事:1)前回議事録の確認。2)第4回理工学における同位元素研究発表会。3)第5回原子力総合シンポジウムについて。4)海岸汚染の問題について。5)報告「米田の原子力発電所建設状況について」:中部電力 富樫委員。

(4) 大学土木教育委員会 第5回幹事会(41.10.24)出席者:林委員長,ほか8名。議事:1)前回議事録の確認。2)アンケート案の検討。3)次回委員会の日程と議事内容について。

(5) 海岸工学論文編集小委員会(41.10.25)出席者:関係者8名。議事:第13回海岸工学講演会講演集の編集について。

(6) トンネル工学委員会運営委員会(41.10.26)出席者:加納幹事長,ほか9名。議事:1)第3回トンネル工学に関するシンポジウムについて。2)委員会規定について。

(7) コンクリート委員会主査幹事会(41.10.28)出席者:国分委員長,ほか10名。議事:1)減水剤試験結果の報告。2)減水剤規格(案)について。

(8) シールド工法小委員会打合会(缶詰)(41.10.29~30)出席者:西嶋委員長,遠藤副委員長,ほか9名。議事:わが国シールド工法の実施例・第1集の編集作業。

(9) 本州四国上部構造部会 材料調査幹事会打合会(41.10.31)出席者:関係者10名。議事:省略。

(10) 第22回学術講演連絡委員会(41.10.31)出席者:久保委員長,ほか15名。議事:1)通常総会および年次学術講演会のあり方について。2)年次学術講演会講演概要原稿の書き方について。3)その他。

(11) 日本土木史編集委員会(第2回)(41.10.31)出席者:佐藤副委員長,ほか24名。議事:1)各部門の編集構成について;①目次案,②割当ページ数の確認,③他部門との調整事項および方法,④今後の作業の進め方。2)出版経費について。

(12) 文献調査委員会(41.11.2)出席者:松本委員長,ほか10名。議事:1)会誌52巻1号登載抄録の決定。2)解説記事について。3)その他。

(13) シールド工法小委員会打合会(41.11.5)出席者:西嶋小委員長,遠藤副委員長,ほか8名。議事:わが国シールド工法の実施例・第1集の編集作業。

(14) 太径鉄筋に関する研究小委員会(41.11.7)出席者:国分委員長,ほか7名。議事:1)研究費配分について。2)研究実施計画について。

(15) 第5回土木図書館運営委員会(41.10.7)出席者:米元委員長,浅川幹事長,ほか6名。議事:1)関係機関刊行物の寄贈依頼方法について。2)図書館の利用度を上げる方法の検討。3)内外雑誌整備状況。4)その他。

(16) 異形鉄筋に関する研究小委員会(41.11.7)出席者:国分委員長,ほか15名。議事:異形鉄筋設計例に関する改訂案について。

(17) 岩盤力学委員会編集委員会(41.11.7)出席者:関係者10名。議事:1)土木技術者のための岩盤力学(刊行物)について;①原稿料の件,②寄贈先について。

(18) 会誌編集委員会(41.11.8)出席者:増岡委員長,ほか17名。議事:1)事務局報告。2)会誌52巻の表紙色の決定。3)投稿要項改訂の件。4)会誌52巻2号特集の件。5)その他。

(19) P C 工法小委員会(MDC工法)(41.11.8)出席者:国分委員長,河野主査,ほか16名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針(案)MDC工法設計編の逐条審議。

(20) 岩盤力学委員会第3回分科会(第3回)(41.11.8)出席者:山本主査,ほか10名。議事:1)前回議事録について。2)委員の交代。3)文献調査について。4)話題提供について。5)講演「矢作ダムサイトにおける岩盤区分と岩盤試験について」:建設省 安江委員。

(21) コンクリート委員会打合会(41.11.8)出席者:関係者10名。議事:日米科学協力セミナーについて打ち合わせた。

(22) 第4回出版企画委員会幹事会(41.11.8)出席者:春日屋委員長,ほか5名。議事:1)41年度新規出版物の進捗状況報告。2)工事報告天草架橋出版委託について。3)現在進行中または企画中の出版物について;①土木学叢書,②わかり易い土木講座,③土木年鑑,④土木製図基準改訂新版,⑤水理実験指導書の出版。4)出版文化賞の制定について。5)その他の出版物について;①測量実習指導書,②構造実験指導書。

(23) 高校土木教育研究委員会(41.11.11)出席者:箭内委員長,三宅幹事長,ほか10名。議事:1)スライド参考映写。2)水理実験指導書について。3)測量実習指導書について。4)構造実験指導書について。5)高校土木教育白書について。6)これからの工業高校における土木教育について。7)土木技術者の教育機関の増設について。

(24) 英文論文集打合会(41.11.14)出席者:関係者6名。議事: Civil Engineering in Japan と英文論文集との関連について打ち合わせた。

(25) トンネル工事実態調査小委員会(41.11.14)出席者:住友委員長,ほか4名。議事:1)トンネル掘削における余掘りの実態について。2)第3回トンネル工学シンポジウムについて。

(26) コンクリート舗装標準示方書改

訂小委員会 (41.11.14~15) 出席者: 国分委員長, 河北主査, ほか 16名。議事: コンクリート舗装標準示方書改訂(案)の逐条審議。

(27) 海岸工学論文編集小委員会 (41.11.15) 出席者: 関係者 8名。議事: 第13回海岸工学講演会講演集の編集について。

(28) 本州四国耐震建設小委員会 打合せ (41.11.16) 出席者: 関係者 4名。議事: 省略。

(29) トンネル工学委員会運営委員会 (41.11.16) 出席者: 加納委員長, ほか 22名。議事: 第3回トンネル工学に関するシンポジウムに関する打ち合わせを行った。

(30) 第12回土木製図基準改訂委員会 (41.11.18) 出席者: 菊池委員長, ほか 11名。議事: 土木製図基準の改訂に関する原稿原案の検討。

(31) 第102回耐震工学委員会 (41.11.18) 出席者: 那須委員長, 岡本副委員長, ほか 6名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 日本地震工学シンポジウム(1966)について。3) IAEE について。4) 委員会規程について。

◎その他

(1) 日本地震工学シンポジウム(1966) (41.10.24~27)

A シンポジウム(第1生命ホール)
参加者: 約500名 うち外人 14名
(1日間)

一般講演: 75題(うち外国 12)
パネル討論: 3題

B 見学会参加者

Aコース: 45名
Bコース: 43名
Cコース: 16名

C 懇親会(糖業会館)

参加者: 100名

D プロシードディングス

印刷数: 1500部

(2) 第4回岩盤力学に関するシンポジウム (41.11.16)

場 所: 土木図書館講堂

参加者: 約130名

一般講演: 11題

特別講演: 1題

(3) 土木技術者のための岩盤力学講習会 (41.11.17~18)

場 所: 虎ノ門共済会館

参加者: 約250名

講演題: 11題

支部だより

◎関東支部

(1) 第6回幹事会 (41.9.7, 土木学会) 出席者: 當山支部長, 堺幹事長, ほか5名。議事: 講習会, 講演会, 見学会, 刊行物について。

(2) 第7回幹事会 (41.10.14, 土木学会) 出席者: 堺幹事長, ほか8名。議事: 映画会, 刊行物, 講演会について。

(3) 都内工事見学会 (41.9.27)

参加者: 50名

(4) 下久保ダム・利根川大堰見学会 (41.11.12)

参加者: 40名

(5) 「舗装」講習会 (41.11.11, ヤマハホール)

参加者: 510名

(6) 「新しい工程管理」講習会 (41.1.18, ニッショーホール)

参加者: 265名

(7) 「道路と交通」講演と映画の会 (41.11.19, ニッショーホール)

参加者: 200名

(8) 「現場技術者のための測定技術」講習会 (41.12.7~9, 土木図書館)

参加者: 講義と実習 50名, 講義のみ 19名

(9) 新刊行物

A. 「舗装」定価 700円 1500部
41.11.10 発行

B. 「新しい工程管理」定価 700円
500部 41.11.15 発行

C. 「現場技術者のための測定技術」
定価 1500円 300部 41.12.5 発行

◎関西支部

(1) 第3回見学会(黒部川第四発電所見学会) (41.10.11~12)

見学先: 黒部川第四発電所

参加者: 44名

参加費: 2000円

(2) 第1回学生見学会 (41.10.29)

見学先: 大阪市地下鉄工事(5号線五六, 今里付近)

大阪空港工事(Aランかさ上げ工事, Bラン工事, エプロン工事, ハンガー工事等)

参加者: 117名

参加費: 50円

(3) 学生映画会(第1回) (41.10.21 立命館大学, 41.10.22 京都大学)

上映映画: ①エレクトロニクスに生き

る ②大都会のハンドル

③繁栄への道—計画編 ④

繁栄への道—工事編 ⑤琵琶湖大橋

琵琶湖大橋

参加者: 立命館大 93名(正会員 13名, 学生会員 80名), 京都大学 40名(正会員 10名, 学生会員 30名) 合計 133名

(4) 自然改造と生物に関する座談会(河川を中心として) (41.10.28, 大阪科学技術センター)

(司会) 玉井 正彰

参加者 井上 俊夫

川崎 精一

(代) 宮崎 明

吉良 竜夫

倉田 亨

渋谷 寿夫

津田 松苗

速水頌一郎

宮崎虎太郎

宮地伝三郎

室田 明

吉田 登

金屋敷忠儀

(株) 鴻池組常務取締役
詩人, 作家

近畿地方建設局河川部長

近畿地建淀川工事事務所長

大阪市立大学教授
近畿大学講師

大阪経済大学教授
奈良女子大学教授

京都大学名誉教授
兵庫県土木部長

京都大学名誉教授
大阪大学教授

関西電力(株) 支配人
幹事

(5) 大阪地盤図講習会 (41.10.3, 大阪科学技術センター)

共催: 日本建築学会近畿支部・土質工学会関西支部

後援: 土木学会関西支部, ほか3協会
題目と講師:

①大阪平野の地史について

(株) 竹中工務店 小泉 昇

②大阪地盤の土質工学的性質について

大阪市立大学 三笠 正人

③大阪地盤における基礎工学的性質について

大阪市立大学 竹中準之介

④既存建築物からみた基礎と地盤について

京都工芸大学 山岡 邦男

⑤大阪の地盤災害について
大阪大学 馬場 善雄

⑥ボーリング柱状図・詳細図および深層調査
ボーリング図について
大阪 市 貝戸 俊一

参加者: 334名 参加費: 400円

(6) 砕石コンクリート講習会 (41.10.7, 大阪科学技術センター)

共催: 日本材料学会関西支部・土木学会関西支部・日本建築学会近畿支部

協賛: 大阪建設業協会, ほか5団体

講義: 7題

参加者: 398名

参加費: 会員 1500円, 会員外 1800円

(7) 第2回商議員会 (41.10.27, 中央電気倶楽部)

出席者: 商議員: 15名, ほか委任状提出者 7名, 評議員: 6名, 理事 2名, 幹事長, ほか幹事 12名。

(8) 第6回幹事会 (41.10.27, 中央

電気倶楽部) 出席者:伊藤幹事長,ほか16名。

(9) 第5回騒音振動委員会(41.10.18,土木学会関西支部会議室) 出席者:庄司委員長,ほか16名。

(10) 騒音振動委員会幹事会(第1回)(41.10.17,土木学会関西支部事務局) 出席者:畑中幹事長,ほか5名。

(11) 商議員交代

商議員 橋高俊二氏 運輸省航空局監理部飛行場計画課長へ転出のため後任として運輸省第三港湾建設局神戸港工事事務所長 日下 宏氏を委嘱した。

(12) 関西支部年次学術講演会(41.11.13,大阪市立大学)

特別講演:都市交通における諸問題
大阪市立大学名誉教授
経済学博士 富永 祐治
一般講演:117題
参加者:373名

(13) 淀川に関する研究会(41.11.11,

大阪科学技術センター)

題目と講師:

- ① 淀川水系の現況
近畿地方建設局河川部長 川崎 精一
- ② 航空写真による洪水流の解析
自由学園最高学部教授 工博 木下 良作
- ③ 淀川水利用の現況
近畿地建淀川工事事務所長 宮崎 明
- ④ 淀川河口部の高潮について
大阪府土木部高潮課長 松本 正

時 論

司 会:近畿圏整備本部調査官

藤野 良幸

参加者:138名

(14) 第2回学生見学会(41.11.24)

見学先:大阪空港工事(Aランかさ上げ工事, Bラン工事, エプロン工事, ハンガー工事等) 大阪市地下鉄工事(5号線今里付近)
参加者62名, 参加費50円

(15) 学生映画会(第2回)(41.11.12,

大阪府立工業高等専門学校)

上映映画:① 鉄道一東海道新幹線工事記録を中心に ② 軟弱地盤の改良 ③ 新しい橋(DW工法) ④ くらよん

参加者142名 {正会員22名
{学生会員120名

(16) 第7回幹事会(41.11.22, 中央電気倶楽部) 出席者:小西支部長,伊藤幹事長,ほか12名。

(17) 第6回騒音振動委員会(41.11.15, 土木学会関西支部会議室) 出席者:関係者19名。

(18) 騒音振動委員会幹事会(第2回)(41.11.15, 土木学会関西支部会議室) 出席者:畑中幹事長,ほか5名。

(19) 騒音振動委員会委員交代

委員 田中茂穂氏 日本道路公団大阪支社滝野工事事務所長へ転勤のため後任として日本道路公団大阪支社工事部工事課長 竹中弘紀氏を委嘱した。

編 集
後 記

一昨年以来,本誌の新年号ではこれからの土木界の重要な共通課題をとらえて特集を編集している。しかもそのテーマは単に土木界の共通課題というに止まらず,土木技術者としての連帯意識の意味を呼びかけようという編集者の意図が含まれている。

土木技術の「総合性」という特性の故に,土木内の個々の分野の発展は,ともすると土木工学を分解させる可能性をつねに抱いているともいえる。にもかかわらず,土木工学としての一体性が必要であるとすれば,それは具体的にどういう点に求められるか。あるいはその一体性が発揮されれば,どういう効果があるのか。学会はそれを追求し続けなければなるまい。学会誌は,将来を眺めつつその問題点を提出する義務があろう。新年号の一連の特集意図を,この観点から会員の皆さんが理解して下さいれば幸である。

今年は「世界の中のわが土木界」という大テーマが選ばれた。全部が依頼原稿である今回の特集は,ご覧のよ

うに論説,解説,座談会などによって多彩に組まれている。幸いにして,執筆各位は期待通り全力投球を下された。テーマが大きいだけに,まだまだ不足論点があるのは当然で,それらは今後の学会誌上において展開されるであろう。

50周年記念事業のひとつとして行なわれた映画コンクールが好評であったので,昨年11月に2回目の映画コンクールが学会主催で行なわれた。その審査結果と作品の紹介が本号に掲載されている。土木関係のすぐれた記録映画が大量に生産されてきた折から,これもまた会員の関心をひくであろう。

例年通り,今年の新年号にも懸賞論文の優秀作が掲載されている。これを参考に次回にも多数の応募をお待ちしている。

書評欄が装を新たに充実して登場してからちょうど1年になる。好評なので,さらに新機軸を生み発展させたいと考えているので,ご愛読ご支援をお願いします。

(高橋 裕・記)

工事報告書類の出版に関して

学会では多くの出版事業を行なっていますが,そのひとつに工事報告書類の出版があります。関門トンネル,若戸橋,一ツ瀬・杉安ダム,黒四発電所など,それぞれ企業主と十分に協議のうえで出版したものです。工事の特色と重要度,報告書に書込まれる内容,出版事業としての採算など出版企画委員会が検討のうえ処理いたしますからご相談下さい。窓口は事務局編集課(351-5130)です。